



いばらき県議会だより

No.197

茨城県議会 検索 <http://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>
 ※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています
 県議会携帯サイト <http://mobile.pref.ibaraki.jp/?page=3044>
 「いばキラTV」 <http://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会
 〒310-8555 水戸市笠原町978番6
 Tel.029-301-5646 [年4回発行]

県北地域に新たな道の駅が今年オープンしました!



⑫常陸大宮～かわプラザ～



3月にオープンした、茨城県内で12番目となる道の駅。国土交通省が定める「重点道の駅」に選定されています。国道118号沿いで便利な場所にありながら、清流・久慈川を目の前にした「自然とふれあえる施設づくり」をしています。建物の裏には親水広場があり、川遊びも楽しめます。BBQ場もあり、手ぶらで行って利用できます。

⑬ひたちおた～黄門の郷～



常陸太田市内の主要幹線道路・国道349号バイパス沿いにあり、7月に新たに誕生した「道の駅ひたちおた」。国土交通省より「重点道の駅」にも選定された、地域の情報発信・交流拠点です。道の駅敷地内のトマトハウスで栽培されているトマトは、時期になれば摘み取り体験ができたり、直売所で購入できます。

<県内の道の駅>

- ①かつら:東茨城郡城里町大字御前山37
- ②みわ:常陸大宮市大字鷺子272
- ③さとみ:常陸太田市小菅町694-3
- ④さかい:猿島郡境町1341-1
- ⑤奥久慈だいご:久慈郡大子町大字池田2830-1
- ⑥しもつま:下妻市大字数須140
- ⑦たまつくり:行方市玉造甲1451-1
- ⑧いたこ:潮来市前川1326-1
- ⑨ごか:猿島郡五霞町大字幸主18-1
- ⑩まくらがの里こが:古河市大和田2623番地
- ⑪日立おさかなセンター:日立市みなと町5779番24
- ⑫常陸大宮:常陸大宮市岩崎717番地1
- ⑬ひたちおた:常陸太田市下河合町1016番1

今定例会の概要

平成二十八年第三回定例会は、九月五日から三十日まで二十六日間の会期で開かれました。

議案は、議員から、教育予算の拡充を求める意見書など、知事から、茨城県一般会計補正予算、茨城県手数料徴収条例の一部を改正する条例などが提出されました。

代表質問は、将来に希望の持てる事業推進と財政規律、県北振興、圏央道沿線地域の持続的な発展に向けた取り組み、茨城県総合計画の推進などの項目について行われました。(二～三面)

一般質問は、本県における企業誘致の成果、障がい者福祉の充実、ライフスキル教育の推進などの項目について行われました。(四～六面)

各常任委員会は、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行い、県北芸術祭の渋滞対策、日本ジオパークに認定された筑波山地域の観光活用、睡眠医療の周知の取り組み、梨「恵水」のブランド化に向けた取り組み、新しい浄水処理技術の効果、高校における親になるための教育への取り組みなどを議論しました。(七面)

決算特別委員会は、平成二十七年度茨城県公営企業会計決算の認定などについて審査しました。(四面)

予算特別委員会は、待機児童対策、つくば国際戦略総合特区の計画延長、涸沼川の整備などの質疑を行いました。(八面)

大規模災害対策調査特別委員会では、提言取りまとめに向けてのスケジュール確認と論点の整理を行うなど活発な議論を行いました。(五面)

国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会では、各競技団体などから参考人を招いて、活動状況や競技力向上などに向けた取り組み、施設の整備状況などについて意見聴取を行いました。(六面)

今回の定例会では、予算、条例、人事報告、意見書、請願などの二十六件の議案などが可決、同意、承認、採択されました。

代表質問※(要旨)



森田 悦男 議員
いばらき自民党
古河市一括方式

将来に希望の持てる
事業推進と財政規律

議員 県財政は一時の危機的状況から脱したとはいえ、全く油断はできない状況であり、今後より厳しい財政規律を設け、事業推進すべきと考えるが、事業推進と財政規律について所見は。

知事 現在、新たな行政改革大綱の策定を進めており、歳出改革、歳入確保に努め、将来の世代に過大な負担を残さないよう財政規律を守りつつ、持続可能で健全な財政運営を確立できるように大綱にしていく。その上で、厳しい社会経済状況の中にあっても、県民が将来に夢や希望が持てるような施策を積極的に推進していく。

本県の特性を生かした
地域づくりによる魅力度
アップへの具体的取り組み

議員 本県の特性を生かした地

第3回定例会の 主な日程

平成28年第3回定例会は、以下の会期日程で開催されました。

- 9月5日(月) **本 会 議**
(開会、知事提出議案説明)
- 9月8日(木) **本 会 議**
9日(金) (代表質問・質疑)
- 9月12日(月) **本 会 議**
13日(火) (一般質問・質疑)
14日(水)
15日(木)
- 9月20日(火) **常 任 委 員 会**
- 9月23日(金) **本 会 議**
(予算関係議案常任委員長報告等)
- 9月26日(月) **決 算 特 別 委 員 会**
- 9月27日(火) **予 算 特 別 委 員 会**
- 9月28日(水) **大規模災害対策調査特別委員会**
- 9月29日(木) **国体・障害者スポーツ大会
推進調査特別委員会**
- 9月30日(金) **本 会 議**
(委員長報告、採決、閉会)

域づくりによる魅力度アップという観点から、まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進について今後の展開は。県北地域の抜本的な振興策について、人口減少に歯止めをかけるという観点から、今後の取り組みは。

みは。就学前における教育は、基本的な生活習慣の習得や人格形成に重要であるが、就学前教育への支援に対するこれまでの成果、今後の取り組みは。

組みは。差別に関する相談窓口を開設したほか、障害を理由とした差別を解消するため、パンフレットを作成配布するなど、県民の理解と協力を得るための普及啓発を行ってきた。今後も関係機関と連携し、障害を理由とした差別解消に取り組んでいく。

知事 魅力あるしごとの創出、交流人口の拡大、結婚・出産・子育て支援などについて、本県の特性を生かした地域づくりに取り組んでおり、積極的に情報発信することが魅力度アップにつながるかと考える。県民、企業、大学、NPOなど多様な主体が連携協力し、施策を展開していく。県北地域の振興については、定住人口の確保、交流人口の拡大を図るとともに、地域公共交通や生活支援サービスの維持などに努め、人口減少に歯止めがかかるよう取り組んでいく。

議員 結婚、出産、子育てへの支援については、親となるべき世代の雇用環境、施設の量や質などに問題があると考えるが、これまでの成果、今後の取り組み

議員 いばらき自民党が他党派の賛同を得て提案した「障害のある人もない人も共に歩み幸せに暮らすための茨城県づくり条例」に関する成果、今後の取り

議員 結婚、出産、子育てへの支援については、親となるべき世代の雇用環境、施設の量や質などに問題があると考えるが、これまでの成果、今後の取り組み

議員 いばらき自民党が他党派の賛同を得て提案した「障害のある人もない人も共に歩み幸せに暮らすための茨城県づくり条例」に関する成果、今後の取り

議員 いばらき自民党が他党派の賛同を得て提案した「障害のある人もない人も共に歩み幸せに暮らすための茨城県づくり条例」に関する成果、今後の取り

議員 いばらき自民党が他党派の賛同を得て提案した「障害のある人もない人も共に歩み幸せに暮らすための茨城県づくり条例」に関する成果、今後の取り

議員 いばらき自民党が他党派の賛同を得て提案した「障害のある人もない人も共に歩み幸せに暮らすための茨城県づくり条例」に関する成果、今後の取り

議員 いばらき自民党が他党派の賛同を得て提案した「障害のある人もない人も共に歩み幸せに暮らすための茨城県づくり条例」に関する成果、今後の取り

議員 いばらき自民党が他党派の賛同を得て提案した「障害のある人もない人も共に歩み幸せに暮らすための茨城県づくり条例」に関する成果、今後の取り

議員 いばらき自民党が他党派の賛同を得て提案した「障害のある人もない人も共に歩み幸せに暮らすための茨城県づくり条例」に関する成果、今後の取り

今定例会で可決された議案

- 議員提出
 - 教育予算の拡充を求める意見書
 - 県有財産の売却処分について
 - 県が行う建設事業等に対する市の負担額について
 - 工事請負契約の締結について
- ◆平成二十八年度補正予算関係
 - 一般会計予算(二件)
- ◆条例の一部改正
 - 茨城県手数料徴収条例の一部を改正する条例
 - 茨城県旅館業法施行条例の一部を改正する条例
 - 茨城県病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
 - 茨城県警察本部内部組織に関する条例の一部を改正する条例
- ◆人事
 - 教育委員会委員の任命について
 - 監査委員の選任について
 - 公安委員会委員の任命について
 - 収用委員会委員の任命について
 - 収用委員会予備委員の任命について
- ◆報告
 - 地方自治法第七十九条第一項の規定に基づく専決処分について

可決された意見書

- 教育予算の拡充を求める意見書
- 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

採択された請願

- ◆文教警察委員会
 - 教育予算の拡充を求める請願

質問方式について

平成二十四年第一回定例会から分割方式が導入され、議員は次のいずれかの質問方式を選択できるようになっております。

- 一括方式
質問項目全てについて一括して質問し、一括して答弁を求める方式。
- 分割方式
質問項目ごとに分割して質問し、その都度、答弁を求める方式。

※【代表質問】…会派を代表して行う質問を代表質問といいます。茨城県議会の場合には、4人以上の会派が代表質問を行うことができます。なお、議員個人の立場で行う質問を一般質問といいます。

代表質問(要旨)



議員 齋藤 英彰
進 市 選 出
民 立 市 選 出
日 立 市 選 出
一括方式

県北振興

議員 県北地域の人口減少に歯止めがかかっていない現状を直視し、より積極的、より大胆に県北振興に取り組むべきである。今後、県北振興にどのように取り組んでいくのか。

知事 これまでも「定住人口の確保」、「交流人口の拡大」、「生活環境基盤の充実」を基本方向にさまざまな施策に取り組んできた。県北振興は県総合計画でも重点プロジェクトの一つに位置付けており、今後は、これまでの取り組みに加え、新たな交流機会の創出や観光誘客、地域の活力の維持・向上などの施策



議員 田村 けい子
明 市 選 出
公 づ 市 選 出
つ く 市 選 出
一括方式

茨城県総合計画の推進

議員 県総合計画推進のために、県民一人一人が計画の基本理念を共有し、いばらきづくりの担い手として取り組むことが重要である。計画推進に不可欠の要素である「県民参加」をどのように推進していくのか。

知事 県政出前講座による周知などのほか、新たに作成した児童・生徒用広報冊子を授業など

を強力に推進していく。

女性の活躍推進

議員 将来の労働力の確保や国民のニーズの多様化、グローバル化に対応するためにも女性の活躍推進は大変重要である。働く女性が活躍できる社会を実現するため、今後、どのように取り組んでいくのか。

知事 県内の企業に対して、働く女性がより一層活躍している職場づくりを推進するためのさらなる取り組みを働き掛けるとともに、本年五月に立ち上げた「女性活躍推進会議」の意見も踏まえ、中小企業の課題解決のための方策について検討していく。

市町村の広域連携推進

議員 少子高齢化が続く中、行政サービスを維持していくには市町村間の広域連携が必要であ

で活用し、次代を担う子供たちへも意識啓発を図っていく。また、施策ごとに取り組むの主体と役割を具体的に示し、いばらきづくりへの参画を促している。

障がい者等の活躍支援

議員 障がい者などの活躍支援にどう取り組んでいくのか。

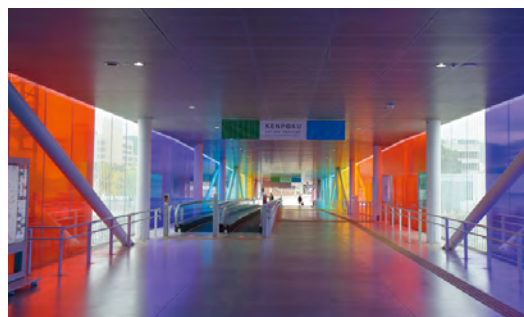
知事 障がい者の就労支援については、就職面接会の開催などを行っており、さらに低利融資制度によるインセンティブ※などの導入については、他県の成果などを踏まえ検討していく。

難病患者の就労支援については、就労支援を含めた相談支援体制を今年度中に整備するほか、

る。今後、市町村の広域連携推進に向けて、どのように取り組んでいくのか。

知事 市町村の自主的な取り組みを尊重しつつ、広域連携に関する情報提供や、連携テーマの提案、検討会への参画などにより、広域連携に向けた取り組みを積極的に支援していく。

(ほかに、行財政改革、いばらき教育プランの推進なども質問)



県北振興の取り組みの一つである県北芸術祭の様子 (JR日立駅)



議員 半村 登
自 民 県 政 ク ラ ブ
猿 島 郡 選 出
一括方式

圏央道沿線地域の持続的な発展に向けた取り組み

議員 圏央道沿線地域における将来を見据えた持続的な発展に向けてどのように取り組むのか。

知事 圏央道の県内区間全線開通により本県の立地優位性は格段に高まることから、この機会を逃さず、多くの企業を誘致し、定住人口の増加など地域の発展につなげていくことが重要である。県では沿線市町が進める開発計画の実現に向け積極的に支援するとともに、企業の未利用地などの情報収集・提供に努め、誘致に生かしていく。また、金融機関などの連携による企業動向の把握、きめ細やかな情報

難病相談支援センターで新たに就労セミナーを開催していく。がん患者の就労支援については、茨城産業保健総合支援センターと連携したセミナーの開催や、経営者協会などの事業者団体などを通じた啓発に努める。

就学前教育の充実

議員 長野県では、自然保育に関する認定制度を開始し、豊かな体験活動を通じて「生きる力」を育むこととしている。このような動きを踏まえ、本県でも就学前教育を充実させるべきでは

知事 自然体験活動は、これまでも、それぞれの幼児教育施設で取り組まれており、今後、保



県総合計画の児童・生徒用広報冊子(右) (左は一般向けリーフレット)

発信などを行い、一社でも多くの企業誘致の実現を図っていく。

東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致

議員 事前キャンプを県内に呼び込むために、今後、どのような方針で取り組むのか。

知事 事前キャンプにより、県民のスポーツに対する興味・関心を高め、国際交流の推進、国内外への本県の魅力発信、地域の活性化を図る効果が期待される。県では市町村や県内大学、競技関係者などと連携を取りながら事前キャンプ誘致に向けた取り組みを進めている。今後とも、市町村との連携・協力の下、各国の動向などを注視しながら、本県内での事前キャンプ実現に向けて全力で取り組んでいく。

本県畜産業における「攻めのTPP対策」

議員 本県畜産業における競争力強化に資する「攻めのTPP

対策」をどう展開するのか。

知事 畜産クラスター事業を活用した畜舎の整備や省力機械の導入などによる規模拡大、県オリジナル種畜を活用したブランド力の向上などに市町村や関係団体と一体で取り組み、本県畜産業の競争力強化を図っていく。(ほかに、小中学校の適正配置、外国人の不法就労防止に向けた取り組みなども質問)



開発が進む圏央道五霞インターチェンジ周辺エリア

県議会を傍聴しませんか

本会議は、県議会議事堂5階の受付で住所と氏名を記入すると傍聴できますので、ぜひお越しください。また、児童および幼児連れの方は、県議会議事堂1階の議会PRコーナーと5階の傍聴者ロビーおよび行政棟2階の県政シアターで本会議の中継をご覧いただけます。なお、授乳室やおむつ替えスペースをご希望の方には部屋をご用意いたしますので、職員にお気軽に声を掛けください。その他、手話通訳や委員会の傍聴など詳細については、県議会事務局議事課にお問い合わせください。



お問い合わせ先 電話 029-301-5634

※【インセンティブ】…目標を達成するための刺激。誘因。外部からの動機付け。

一般質問(要旨)

●質問者

9月12日(月)

福地 源一郎

(いばらき自民党)

上野 高志

(日本共産党)

中村 修

(いばらき自民党)

9月13日(火)

志賀 秀之

(いばらき自民党)

二川 英俊

(民進党)

先崎 光

(いばらき自民党)

9月14日(水)

八島 功男

(公明党)

石田 進

(いばらき自民党)

磯崎 達也

(いばらき自民党)

9月15日(木)

石井 邦一

(いばらき自民党)

飯田 智男

(自民県政クラブ)

本澤 徹

(いばらき自民党)



福地 源一郎 議員
いばらき自民党
日立市選出
一括方式

本県における企業誘致の成果

議員 全国に先駆けて企業誘致に取り組む、全国トップとなった企業誘致の結果が、本県にもたらしたこれまでの成果は。

知事 日野自動車や雪印メグミルクなど最近十年間で年平均約六十社に立地いただいた。平成十五年からは昨年までの立地企業へのアンケートでは、一万五千人超の新規雇用が見込まれるなど、企業誘致は、働く場の確保や税収の増加、地域の経済活性化に寄与し、人口減少対策にも大変有効と考える。



上野 高志 議員
日本共産党
日取市選出
一括方式

障がい者福祉の充実

議員 取手・竜ヶ崎圏域の障がい者入所施設は人口十万人当たり三十四人と少ない。七十歳の父親は「取手から息子がいる大洗まで週に一回通っているが、あと何回会えるのか」と言っている。入所施設を増やす計画についての所見は。知事 近年、施設の新設などは民間での実施が主流であるため、地域の実情や広域での利用調整状況を踏まえ、入所施設の新設や定員増について社会福祉法人などと話し合いを進めていきたい。

東海第二原発の再稼働中止

議員 震災後、全国で起きたマグニチュード五以上の地震の四分の一が本県に集中している。これほどの地殻変動が起こる中、国任せでは県民の命は守れない。東海第二原発の再稼働中止への決断は。

知事 日本原電では、地震の都度施設を点検し、新たな異常は確認されていない。県でも、東海第二発電所の安全性をしっかりと検証し、再稼働については今後さまざまな状況を踏まえ判断していく。

(ほかに、取手競輪場の廃止と街づくり、就学援助制度なども質問)



中村 修 議員
いばらき自民党
取手市選出
一括方式

ライフスキル教育の推進

議員 子供たちのライフスキルが落ちていっていると感じており、非常に危惧している。ライオンズクラブのような有効な教育プログラムを活用し、ライフスキル教育を推進すべきだが、所見は。

教育長 研修講座においてライフスキルに関する内容を盛り込み、教員の指導力向上を図っている。ライオンズクラブの趣旨を浸透させるなどして、今後とも子供たちの生きる力を育む教育を一層推進していく。

本県のおもてなしの推進

議員 県民のおもてなし力の向上とともに、専門的な窓口を空港や駅など本県の入り口に当たる場所に設置し、観光客を迎える体制を整えるべきと考えるが、本県のおもてなしをどう推進するのか。

知事 観光振興課長 窓口担当者ももとより、広く県民の方々に「観光マイスター」の取得を働きかけるほか、県内各地域で「おもてなし講座」を開催するなど、全県的なおもてなしの推進を図っていく。

(ほかに、待機児童の解消、認知症への対応と対策なども質問)



おもてなし県民大会の様子



志賀 秀之 議員
いばらき自民党
北茨城市選出
一括方式

北関東磐越五県知事会議を踏まえた今後の展望

議員 先般開催された北関東磐越五県知事会議を踏まえ、福島第一原発事故に伴う風評被害対策、茨城空港における国際線の就航対策について、今後どう取り組むのか。

知事 風評被害対策に係る食品の輸入規制解除については、国への要請などを粘り強く継続するほか、徹底した放射性物質検査を着実に実施する。国際線の就航対策については、海外の航空会社に対し、着陸料の軽減措置に加え、茨城空港の特長をアピールしていく。

宿泊施設の魅力向上

議員 宿泊観光客の受け入れ体制の強化を図るため、どのようにハード・ソフトの両面から宿泊施設の魅力向上に取り組むのか。

知事 観光振興課長 増額の補正予算を計上した「宿泊施設グレードアップ支援事業」などにより、施設の整備・改修を支援するほか、「いばらき観光マイスター」の取得促進による従業員の接客スキル向上などについても取り組む。

(ほかに、県内農産物の輸出拡大、中学校での部活動休養日に関する問題なども質問)



茨城空港にさらなる国際線の誘致を

決算特別委員会を開催しました

決算特別委員会(鈴木 本亮寛委員長)では、九月十五日に付託された「平成二十七年年度茨城県公営企業会計決算の認定」ほか一議案について、九月二十六日に委員会を開催し、審査を行いました。

審査に当たっては、公営企業を所管する企業局、病院局、土木部の各部局から事業実績などの説明を聴取するとともに、監査委員に

決算特別委員会(鈴木 本亮寛委員長)では、九月十五日に付託された「平成二十七年年度茨城県一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定」について、閉会中に委員会を開催し部局ごとの審査を行い、第四回定例会の会期中の委員会において総括質疑、採決を行う予定です。

※【ライフスキル】…世界保健機関(WHO)は「日常のさまざまな問題や要求に対し、より建設的かつ効果的に対処するために必要な能力」と定義している。
※【ライオンズクエスト】…ライオンズクラブが普及活動をしているライフスキル教育プログラムのこと。

一般質問(要旨)



議員 二川 英俊
進 党
民 進 党
ひたちなか市選出
一括方式

ひたち海浜公園の整備

議員 現在のひたち海浜公園整備・管理運営プログラムは今年度までの計画となつていますが、今後、国に対して公園の整備をどのように働き掛けていくのか。

土木部長 国の次期プログラム策定に向け、自然環境の保全・保護を図るとともに、増加する外国人観光客への対応なども重要と考えている。国内外からより多くの方々が訪れ楽しんでいただけるよう、意見聴取の場などあらゆる機会を通じて国に働き掛けていく。



議員 先崎 光
いばらき自民党
那珂市選出
分割方式

茨城県北芸術祭の今後の在り方

議員 芸術祭について、今後も継続してほしいと考える。芸術祭を続けていくとすると、どのような方法があるのか。例えば、開催間隔や事業費などについての所見は。

企画部長 茨城県北芸術祭を今後継続して開催するかどうかについては、今回実施した成果や課題などを踏まえ、開催間隔や事業費を含めた実施方法について、地元市町や関係者の方々と十分議論しながら検討を進めていく必要があると考えている。

茨城港を活用したクルーズ船の誘致

議員 首都圏に近く、北関東の海の玄関口としての立地を生かし、茨城港を活用したクルーズ船の誘致にどのように取り組むのか。

土木部長 関係部局や団体が連携し全県的な取り組みとして海外クルーズ見本市への参加などを通して、本県の自然や歴史、伝統工芸など多彩な観光資源の魅力や地元の熱意などをPRすることで、茨城港へのクルーズ船誘致に取り組む。

(ほかに、市町村が行う災害対策への対応、ワーク・ライフ・バランスの取り組みなども質問)



常陸那珂港に初寄港した「飛鳥II」出港時の様子

小規模校を地域に残すための支援

議員 小規模でも生き生きと子供たちが育つことのできる環境づくり、学校存続を目指す地域への支援は大切と考えるが、所見は。

教育長 学校は、地域の象徴であると同時に地域コミュニティの核としての性質を有していると考えられる。今後とも、学級数の少ない学校の教員配置の充実に努めるほか、特色ある取り組み事例を市町村と共有し、小規模校に通う児童生徒の教育環境の充実を支援していく。

(ほかに、国道一八号那珂大宮バイパス整備推進なども質問)



小規模校における授業の様子



議員 八島 功男
明 党
公 明 党
土浦市選出
一括方式

茨城県総合計画と首都圏広域地方計画の意義

議員 首都圏広域地方計画におけるキーワードである「対流」と「連携のかたまり」の考え方は、茨城県総合計画において、どのように生かされているのか。

知事 県計画においても、「連携のかたまり」からさまざまな「対流」が創出されるという考え方を、県の施策展開に生かし、企業誘致による産業拠点の形成や効率的な物流体系の構築に取り組むなど、地域内外の人・もの・情報の「対流」を促進することとしている。



議員 石田 進
いばらき自民党
いばらき市選出
神栖分割方式

鹿島労災病院の機能の維持

議員 「鹿島労災病院と神栖済生会病院の今後のあり方検討結果報告書」では、両病院を再編統合し、鹿島労災病院は撤退の方向が示されているが、労災病院機能の維持については、どう取り組むのか。

知事 労働災害などに対応した医療機能を済生会が引き継ぐこととなる。今回の再編統合は、両病院の脆弱な診療体制や厳しい経営状況を打開し、地域に必要な医療機能を残し、医療体制の充実と強化を図るためのものと認識している。

つくば霞ヶ浦りんりんロードの本格稼働

議員 オープニングイベントの開催をはじめとした、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の本格稼働への取り組みは。

企画部長 オープニングイベントの開催については、関係者と調整を図りながら準備を進めていくほか、サイクリストのおもてなしについても、一層の充実を図っていくなど、サイクリング環境の構築に向けた取り組みを進めていく。

(ほかに、インフラのストック効果、災害廃棄物処理計画の策定なども質問)



新たに名称が決定した「つくば霞ヶ浦りんりんロード」

大規模災害対策調査特別委員会

大規模災害対策の在り方などについて活発に議論

大規模災害対策の在り方などについて調査・検討するため設置された「大規模災害対策調査特別委員会」(細谷典幸委員長)では、これまで四回の委員会を開催し、精力的に議論を行ってきた。



第一回委員会(五月開催)および第二回委員会(六月開催)では、災害対策に係る法制度や本県の防災体制、近年の大規模災害の状況などについて審査を行うとともに、災害関連の研究や検証などに携わられた学識経験者の方を参考人として招き、行政に求められる災害対策などについて意見聴取を行いました。

また、第三回委員会(八月開催)では、第二回委員会に引き続き、県で実施している主な災害(防災)対策などについて、関係する部局から説明聴



さらに、九月に開催した第四回委員会では、これまでの審査内容を整理し、提言の取りまとめに向け、大規模災害対策の在り方などについて幅広く意見交換を行ったところである。委員会では、大規模災害発生時の被害を最小限に食い止め、県民の安全・安心を確保できるよう、引き続き、審査を進めてまいります。

一般質問(要旨)



磯崎 達也 議員
いばらき自民党
ひたちなか市選出
一括方式

ひたちなか海浜鉄道湊線の延伸

議員 「ひたちなか海浜鉄道湊線の延伸を実現する会」において延伸構想が決定された。延伸は地域経済を活性化し、鉄道と共に街が発展していく理想的な街づくりと考えるが、延伸についての所見は、
知事 今後、ひたちなか市において、詳細な検討が行われるので、その動向を見守っていくが、仮に延伸することが決まった場合には、県の財政状況や、これまでの他の鉄道会社への支援事例などを踏まえながら、適切な対応をしていく。

国道六号市毛十字路の安全対策

議員 ひたちなか市市毛の国道六号において、自転車横断帯を自転車で横断中の中学生が車にはねられ死亡する事故が発生した。交通量の多い市毛十字路の安全対策は、
土木部長 国道を管理する国では、速度抑制や注意喚起を促すため、交差点手前のカラー舗装や自転車横断注意の看板設置を年内に実施する。県でも、国道と交差する県道に速度抑制の路面表示や注意喚起の看板設置を年内に実施する。
(ほかに、不妊治療、高齢者の見守り対策なども質問)



延伸計画が検討されているひたちなか海浜鉄道湊線



飯田 智男 議員
自民県政クラブ
常総市選出
一括方式

災害時の支援物資の円滑な供給体制

議員 常総市や熊本県の教訓を踏まえて、支援物資の効率的な分配の方法、情報の共有化を検討し、県地域防災計画に適切に反映させていくべきと考えるが、所見は、
生活環境部長 県防災情報ネットワークシステムの機能強化や新たな防災倉庫を中核とした物資の仕分け・配送などの仕組みを構築し、災害時に避難所の被災者ニーズに合った支援物資を迅速かつ円滑に供給できるよう、県地域防災計画への反映を見据えて取り組む。

防災教育の充実強化

議員 災害時に児童生徒が自らの命を守る行動をとるためには、受け身で学ぶだけではなく、自分で考える力を育むための防災教育が重要であるが、その取り組みは、
教育長 児童生徒の災害などに対する危機管理能力の育成を図るため、ワークショップ形式の「考える防災学習」を積極的に推進し、児童生徒がより主体的に考え行動する力の育成に取り組む。
(ほかに、石下駅中沼線、国道一二五号と県道高崎坂東線の八千代町貝谷交差点改良整備なども質問)



常総市内の中学校における防災学習の様子



石井 邦一 議員
いばらき自民党
常陸太田市選出
一括方式

県北山間地域への定住促進

議員 首都圏などからの県北山間地域への移住を促進するためには、特色ある施策により、魅力の向上を図る必要があると考えるが、県はどう取り組んでいくのか。
知事 市町村ごとの情報をまとめて提供する県版空き家バンクの構築を進めるとともに、移住者に対して県産木材を利用したリフォーム支援を検討していく。また、雇用の創出、生活環境基盤の整備、交流人口の拡大などにさらに力を入れて取り組んでいく。

全国育樹祭の誘致

議員 県民参加による森づくりをさらに広げていくためには、全国育樹祭の早期誘致が必要だと考えるが、開催の可能性は、
農林水産部長 運営体制づくりなどの観点から、国体や東京オリンピック・パラリンピック以降の開催が現実的と考える。今後は共催となる国土緑化推進機構や潮来市などと調整し、時機を逃すことがないよう誘致の検討を進めていく。
(ほかに、医療提供体制の構築、魅力ある県立高等学校づくりなども質問)



平成元年に開催された第13回全国育樹祭式典会場の様子(大子町)



本澤 徹 議員
いばらき自民党
鉾田市選出
一括方式

東関東自動車道水戸線の進捗状況と今後の見通し

議員 北浦複合団地への企業誘致や茨城港へのアクセス強化、救急医療機関への搬送時間の短縮などの効果が期待される東関東水戸線の進捗状況と今後の見通しは、
土木部長 県内五十一キロのうち四十キロが未開通であるが、潮来・仮称鉾田IC間は用地取得率が八割まで達し、仮称鉾田・茨城空港北IC間は平成二十九年度開通に向けて工事が行われている。事業者である国などに対し、早期全線開通を強く働きかけていく。

北浦複合団地への企業誘致

議員 雇用の確保や若年層の人口流出防止など、鹿行地域の発展につながる北浦複合団地への企業誘致を、セールスポイントを生かしながら、どのように取り組むのか。
企画部長 企業の立地情報を迅速に把握するとともに、行方市とも連携し、税制の優遇措置などの活用や、交通便利性が高く鹿島臨海工業地帯に近接していることを生かし、全力で企業誘致に取り組む。
(ほかに、鉾田地域の公共交通の在り方、鉾田川の護岸整備なども質問)



全線開通が望まれる東関東水戸線

国体・障害者スポーツ大会 推進調査特別委員会

両大会の成功や競技力向上などに向けて活発に議論

平成三十一年に本県で開催予定の、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の推進、および、これらを活用した地域づくりなどに関する諸方策について調査・検討を行うために設置された「国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会」(海野透委員長)は、これまで五回の委員会を開催し活発な議論を行ってきた。
また、七月から九月にかけて開催した、第二回から第五回までの各委員会は、本委員会の審議の参考にするため、公益財団法人茨城県サッカー協会や茨城県県民体育連盟、茨城県レスリング協会などの各競技団体や、大会会場となるひたちなか市や土浦市の各自治体のほか、株式会社日立製作所など選手を雇用する企業などから参考人を招いて、活動状況や競技力向上に向けた取り組み、施設の整備状況などについて意見聴取を行いました。
引き続き、両大会の成功や競技力向上などに向けて、調査・検討を行っていく予定です。



第一回委員会(六月開催)では、本県のスポーツ活動の現状や大会における競技施設の整備状況のほか、競技力向上に向けた取り組みなどについて、調査・審議を行いました。



常任委員会の審査から

農林水産委員会

梨「恵水」のブランド化に向けた取り組みは「特選恵水」の販売でブランド化を図る

問 梨の県オリジナル品種「恵水」の特性とブランド化に向けた県の取り組みは。

答 「恵水」は大玉で糖度が高く、貯蔵性に優れるなどの特性がある。糖度が十三度以上のもを「特選恵水」として、高級果実店で販売することで単価向上につなげるとともに、貯蔵性に優れる特性を生かし、お歳暮などの高級贈答品として有利販売を目指す。

問 本県における「簡易な農地整備」事業の内容と今後の取り組みは。

答 担い手への農地集積を進めるため、畦畔除去による区画拡大や地下排水溝などの整



秋を彩る芳醇な味わい 恵水

備を行う事業で平成二十四年度から実施されている。要望の多い事業であり、引き続き関係機関と連携し事業周知や実施地区へのサポートを行う。(ほかに、農地利用意向調査と遊休農地対策、法人化への支援策なども質問)

総務企画委員会

県北芸術祭における渋滞対策はシャトルバスを運行するなど渋滞緩和に努める

問 県北芸術祭には多くの人が訪れているが、これから山側は紅葉シーズンとなるため、渋滞が予想される。どのような渋滞対策を行うのか。

答 特に混雑する土日祝日に各エリア主要駅から無料周遊バスを運行するほか、水戸駅や日立駅からバスツアーを実施している。また、五浦美術館では臨時駐車場からシャトルバスを運行するなど、渋滞緩和に努めていく。

問 県庁で試行されるテレワークのうち在宅勤務では情報管理が重要と考えるが。

答 在宅勤務の実施に当たり、自宅パソコンには最新のウイ



開催中の県北芸術祭

ルス対策をし、県庁パソコンへのアクセスの認証を厳格化するなど対策している。また、セキュリティポリシーが遵守されるよう周知徹底していく。(ほかに、本県のプライマリバランス、サイクリング環境の整備なども質問)

土木企業委員会

新しい浄水処理技術の効果は有機物などの大幅な除去が可能となる

問 今後、企業局の浄水場で導入が予定されている二つの新しい浄水処理技術の効果は。

答 新技術の一つである帯磁性イオン交換樹脂処理※では、発がん性が疑われているトリハロメタンの原因となる有機物を大幅に除去できる。また

問 ゲリラ豪雨が多発しており、道路のアンダーパス部※における自動車の水没事故が心配されるが、点検・維持管理はどのように行っているか。

答 県が管理する箇所では、年一回の点検のほか、月ごと



新たな浄水処理技術の実証実験施設

の点検や日常パトロールなどとともに、点検結果や稼働状況を踏まえ、排水設備の分解・清掃などを行っている。(ほかに、県道水戸神栖線の整備、総合評価方式における地元建設業者の落札状況なども質問)

防災環境商工委員会

日本ジオパークに認定された筑波山地域の観光活用は地元六市と連携しながら観光振興に取り組む

問 観光分野においては、筑波山地域が日本ジオパークに認定されたことを、今後どのように活用していくのか。

答 地元六市が筑波山地域の日本ジオパーク認定を契機とし、情報発信や広域周遊ルートの開発に取り組んでいる。県としても、地元六市と連携しながら、パンフレットによる広報やツアー造成などを行い、観光振興に取り組む。

問 最近、台風の影響などによる大雨が続いているが、住民の防災意識の向上に向け、県ではどのような取り組みを行っているのか。

答 県政出前講座による防災



つくば市神郡から望む筑波山の風景

講習会への講師派遣や、いばらき防災大学による地域防災リーダーの育成支援のほか、市町村が行う防災講習会への補助などを行っている。(ほかに、霞ヶ浦の水質浄化ベトナムアンテナショップの展開なども質問)

文教警察委員会

高校における親になるための教育への取り組みは親や家庭などの役割を学ぶ教育を進めている

問 高校生が親の役割を理解するための教育が大切であるが、その取り組みは。

答 高校では「家庭基礎」または「家庭総合」の授業において、親や家庭、地域や社会の果たす役割を学習するとともに、体験活動などを通して乳幼児の世話や子どもへの関わり方を学んでいる。引き続き、家庭教育の大切さが理解されるよう取り組んでいく。

問 警察相談専用電話「#9110制度」については、被害の未然防止などに有効であると認識するが、県民に対する周知の方策は。

答 報道機関を通じた広報や



家庭教育における体験活動の様子

県警音楽隊コンサート、街頭キャンペーンなどによる周知に加えて、ひばりくん防犯メールなども活用し、今後も県民への普及啓発に努めていく。(ほかに、未解決事件への取り組み、オリンピック・パラリンピック教育なども質問)

保健福祉委員会

睡眠医療の周知に力を入れるべきでは講演会の開催やパンフレット配布などにより周知する

問 「茨城県立睡眠医療クリニック」の開設を契機として、睡眠医療についての周知に力を入れるべきではないか。

答 筑波大学国際統合睡眠医学科学研究機構と連携した講演会の開催などのほか、睡眠医療の重要性や睡眠医療クリニックについて、パンフレットを作り、県民や運輸業者に配布するとともに、ホームページによる周知も検討していく。

問 民間病院も含めて継続的に医師を確保するための地域医療対策に必要な財源として、県独自に基金を設置するべきではないか。



終夜睡眠ポリグラフィー検査の様子(県立こころの医療センター：笠間市)

答 消費増税先送りによる国の地域医療介護総合確保基金への影響を注視し、地域医療対策に影響がある場合には他県状況なども踏まえ、基金設置も含め対応を検討していく。(ほかに、県立病院における退院支援、病児保育事業の今後の取り組みなども質問)

※【帯磁性イオン交換樹脂処理】…イオン交換を原理として水中の有機物を除去するシステム。
 ※【アンダーパス部】…立体交差で、掘り下げ式になっている下の道路。

予算特別委員会

●質問者

- 館 静馬 (いばらき自民党)
- 星田 弘司 (いばらき自民党)
- 萩原 勇 (いばらき自民党)
- 山中 たい子 (日本共産党)
- 二川 英俊 (民進党)
- 八島 功男 (公明党)
- 白井 平八郎 (自民県政クラブ)
- 村上 典男 (いばらき自民党)

館静馬委員(自民) 待機児童対策について、平成二十七年からの「大好きいばらき次世代育成プラン」において、平成三十一年度までに待機児童ゼロを目標に設定しているが、今後どのような計画で待機児童を解消するのか。

知事 子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、市町村では、平成三十一年度待機児童を解消することを目標とした子ども・子育て支援事業計画を策定した。このため、各市町村が、当計画を着実に実行することが重要と考えるが、県としても、各地域の保育の実情などを勘案しながら、市町村と連携し待機児童の解消のために必要な施策を検討し対策を講じるなど、積極的な取り組みを進めていきたい。(ほかに、あすなろの郷の現状も質問)

星田弘司委員(自民) つくば国際戦略総合特区については、計画を延長し、産学官が連携して研究を進め、さらなる成果を求めるべきと考えるが、今後どう取り組むのか。

知事 延長に向けて、自治体や研究機関などで構成する地域協議会で次期計画案の協議を行った上で国に申請し、年度末の認定を目指していく。今後は、

技術シーズと企業ニーズとのマッチングを行うコーディネート機能を強化するほか、関係機関と連携してプロジェクトの課題やニーズを把握し、規制緩和措置や財政・税制の支援措置などの活用を促進し、新事業・新産業の創出により一層取り組んでいく。(ほかに、学校における救命講習(仮称)つくばスマートICなども質問)

萩原勇委員(自民) 大学において専門的知識を学ぶスポーツトレーナーの卵を、県立高校の運動部活動において活用することを通じて、子供たちの強い身体づくりに取り組むべきと考えるが、所見は。

教育長 専門的な知識や技術を学ぶ学生を県立高校の運動部活動において活用することは、生徒のバランスのとれた身体づくりや、運動部活動のさらなるレベルアップを図る上で大変有効であることから、今後設置する予定の運動部活動推進委員会の中で、外部指導者の位置付けと併せて、大学との連携実現に向けた具体的検討を進めていく。(ほかに、国体・障害者スポーツ大会を契機とした笠松運動公園整備などの在り方、土砂災害対策なども質問)

山中たい子委員(共産) 市町村や茨城県租税債権管理機構において、国保税の滞納処分として厳しい差し押さえが行われている。これまで、「生活費まで差し押さえるような違法な差し押さえはしていないと考えている」とのことであったが、国税徴収法の差し押さえ禁止財産などの規定についての認識は。

知事 市町村などでは、滞納する世帯の特別な事情の把握ときめ細やかな納税相談を行っている。県は、支払能力があるのに納付しないなど悪質な滞納者に対して差し押さえする一方、財産のない世帯などには滞納処分の執行

停止をするなど、個別案件に応じた適切な対応を市町村に助言している。(ほかに、土砂などの埋め立てへの規制、特別支援学校の増設なども質問)

二川英俊委員(民進) 全県的な取り組みのモデルとして、県職員のワーク・ライフ・バランス実現のためには、職場全体での機運醸成や管理職への教育が重要と考えるが、どのように取り組むのか。

知事 ワーク・ライフ・バランスの推進は、優秀な人材の確保、公務の能率的な運営などの観点から極めて重要と考える。そのため、夜七時に県庁舎のライトダウンを行う完全消灯日の設定、年次休暇の連続取得の奨励などで機運の醸成を図るとともに、部下の仕事と生活の両立を支援するイクボス養成講座により管理職の意識啓発に取り組む。(ほかに、中丸川の整備、義務教育課程における携帯電話・スマートフォン利用に関する教育なども質問)

八島功男委員(公明) ICT活用は時間の有効活用や、費用の削減、職員の生産性向上と働く意識改革につながると考えるが、県庁におけるタブレット端末導入について、研究会の立ち上げを含め、導入に対する所見は。

企画部長 県として、タブレット端末などを導入し、多様な働き方による業務効率化を推進することとした。今年十月から、職員にタブレット端末を貸与し、出張先などで活用するモバイルワークを試行するので、試行に参加した職員などを構成員に研究会を立ち上げ、タブレット端末利用の在り方について、調査・検討を進めていく。(ほかに、中小企業金融の円滑化、個別事業のフルコスト情報の開示なども質問)

白井平八郎委員(自県ク) 日本有数のロボット研究開発の拠点となる本県の強みを生かし、県は本年三月に「ロボットイノベーション戦略」を策定したところであるが、どこに重点を置き、どのような方針で進めていくのか。

知事 特に、「社会が抱える課題をロボット技術の活用により解決するシステムづくり」が重要と考え、社会のニーズにあったロボット開発、社会実装に向け、新たにロボット技術利用研究会を設置するとともに、実証試験・実用化支援事業を実施している。これらの取り組みにより、本県におけるロボット産業の育成、振興を図り、「ロボット利用先進県いばらき」を目指す。(ほかに、科学技術を担う人材育成、学校における食育の推進なども質問)

村上典男委員(自民) 河川整備においては、最も効果的な手法を見極め、事業を絞り込んでいく必要があると考える。限られた予算の中で最大の効果をあげるといふ観点から、今後の濁り川整備にどのように取り組むのか。

土木部長 平成二十六年の台風十八号による家屋浸水を契機に行った測量調査の結果を踏まえ、今後の効果的な整備の進め方について検討してきた。その結果、流下能力が不足している一連区間や局所的なボトルネック箇所について、土砂掘削などを優先的に実施していくほか、長期的な治水計画を定めた河川整備計画に基づき、下流から順次、整備を進めることとしている。(ほかに、太陽光発電施設に係るガイドライン、今後の農業振興なども質問)



9月27日に行われた予算特別委員会における質疑の様子

お知らせ

次回の、平成28年第4回定例会は、12月1日から22日までの22日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議事予定
12.1	木	議会運営委員会 本会議(開会、知事提出議案説明)
2	金	休会(議案調査)
3	土	
4	日	
5	月	休会(議案調査)
6	火	議会運営委員会 本会議(一般質問・質疑)
7	水	本会議(一般質問・質疑)
8	木	本会議(一般質問・質疑、議案常任委員会付託)
9	金	休会(委員会審査準備)
10	土	
11	日	
12	月	休会(常任委員会)
13	火	休会(常任委員会)
14	水	議会運営委員会 本会議(予算関係議案常任委員長報告、予算関係議案予算特別委員会再付託)
15	木	休会(大規模災害対策調査特別委員会)
16	金	休会(国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会)
17	土	
18	日	
19	月	休会(決算特別委員会)
20	火	休会(予算特別委員会)
21	水	休会(議事整理)
22	木	議会運営委員会 本会議(委員長報告、採決、閉会)